

4. 入学試験

本研究科博士課程後期課程の入学試験は、一般入学試験のみ実施します。

【入学試験に関する注意事項】

試験当日は、**試験開始 15 分前**までに試験場に集合してください。試験場については下記の項を参照してください。なお、**原則として遅刻者の受験は認めません。**

試験場には時計の設備がありません。各自時計を持参してください。なお、時計は時間を計る機能のみのものとします。スマートウォッチなどの腕時計型端末の使用は認めません。

1) 一般入学試験

1. **試験場（池袋キャンパス）：5号館**（詳細は「池袋キャンパス案内図」19頁参照）
（教室は当日試験場入口に掲示します。口頭試問試験場は筆記試験の時に通知します。）
2. 入学者の選考は、筆記試験および口頭試問の成績を総合的に評価して行います。
3. **試験期日、筆記試験科目および口頭試問時間割**

専攻	試験期日	試験科目・試験時間 注1) 2) 3)		
		9 : 30～11 : 00	11 : 20～12 : 20 ※は 11:20～12:50	筆記試験 終了後 注7)
日本文学	2026 年 2 月 24 日 (火)	論文	英語、漢文から 1 科目選択 注4)	口頭試問
英米文学		英語・英米文学	ドイツ語、フランス語、 スペイン語から 1 科目選択 注4)	
ドイツ文学		ドイツ語・ドイツ文学	英語	
フランス文学		フランス語・フランス文学	英語	
史学		英語、ドイツ語、 フランス語、 中国語（漢文を含む） から 1 科目選択 注4) 5)	論文	口頭試問 注5)
超域文化学		英語、ドイツ語、 フランス語、スペイン語、 日本語 から母語以外の 1 科目選択 注4)	論文※	口頭試問 注8)
教育学		英語、ドイツ語、 フランス語、日本語 から 1 科目選択 注4) 6)	論文※	口頭試問
比較文明学		論文	英語、ドイツ語、 フランス語、スペイン語、 中国語、日本語 から母語以外の 1 科目選択 ※ 注4)	

注1) 「筆記試験」の設問には原則として日本語を用い、「口頭試問」も原則として日本語で行います。

注2) 外国の大学出身者の解答に用いる言語については、下記のとおり各専攻の定めるところによります。日本語以外の言語での解答を希望する志願者は、出願の際、文書（A4判・書式自由）で届け出なければなりません。なお、ここでいう「外国の大学出身者」には、日本の大学を卒業後、さらに外国の大学または外国の大学院を修了した者は含みません。

日本文学専攻： 解答は日本語のみ。

英米文学専攻： 解答は日本語または英語。（問題の指示によります。）

ドイツ文学専攻： 解答は日本語またはドイツ語。（問題の指示によります。）

フランス文学専攻： 解答は日本語またはフランス語。（問題の指示によります。）

史学専攻： 解答は日本語のみ。

超域文化学専攻： 解答は日本語のみ。

教育学専攻： 解答は日本語のみ。

比較文明学専攻： 解答は日本語のみ。

注3) 「筆記試験」における辞書（電子辞書は除く）の使用については下記の通り各専攻の定めるところによります。

日本文学専攻： 「英語」、「漢文」の試験にのみ各自持参の辞書の使用を認めます。
辞書の種類や冊数は各自の自由です。

英米文学専攻： 辞書の使用は認めません。

ドイツ文学専攻： 辞書の使用は認めません。

フランス文学専攻： 辞書の使用は認めません。

史学専攻： 選択した外国語について、語学辞書1冊の使用を認めます。

超域文化学専攻： 辞書の使用は認めません。

教育学専攻： 辞書の使用は認めません。

比較文明学専攻： 各自持参の辞書1冊の使用を認めます。

注4) 選択科目

出願の際、受験を希望する科目を1科目選択し、Web出願システムで選択科目1として入力してください。

注5) 史学専攻：

1. 「筆記試験」は、日本史・世界史の専修別に出題されるので、出願の際、Web出願システムで選択科目2として入力してください。
2. 「口頭試問」の際に、研究対象に深く関わる言語に関する試問を行う場合があります。

注6) 日本語を母語とする受験生は「日本語」の選択はできません。

注7) 口頭試問は各専攻とも筆記試験終了後に実施します。

注8) 超域文化学専攻の「口頭試問」

「口頭試問」の際に、研究対象地域の言語に関する試問を行う場合があります。

注9) 下記のことをすると不正行為となることがあります。

【筆記試験】

- 1) カンニング（カンニングペーパー・参考書の類・他の受験者の答案を見ること、他の人から答えを教わること等）をすること。
- 2) 使用を禁じられた機器・用具等を使用して問題を解答すること。
- 3) 「解答はじめ」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- 4) 「解答やめ。鉛筆を置いてください」の指示に従わず、筆記用具を持っていたり解答を続けたりすること。
- 5) 試験時間中に、答えを教えるなど他の受験者を利するような行為をすること。

- 6) 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等（スマートウォッチやスマートグラス等）の通信機器を身につけていること。
- 7) 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- 8) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- 9) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

【口頭試問】

- 1) 口頭試問中に他の人と連絡をとりあうこと。
- 2) 口頭試問の録画・録音、またはそれを SNS 等のインターネット上へ掲載すること。
- 3) 口頭試問終了後に、これから口頭試問をおこなう他の受験者に内容を伝えること。
- 4) 口頭試問控室または口頭試問室前において無用な会話をすること。
- 5) 口頭試問控室または口頭試問室前において係員の指示に従わないこと。
- 6) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

また、不正行為と認められた場合、次のような対応をとります。状況により、警察へ被害届を提出する等の対応をとることがあります。

●当該年度に実施する本学のすべての入学試験の受験を認めません。

●当該年度に実施する本学のすべての入学試験の結果を無効とします。

なお、入学後に不正行為と認められた場合は、入学取り消しとなる場合があります。この場合、入学金、学費その他納入金は返還しません。